

こうかい

梶田星良

海のおいがするあなたと

しばしの別れはなんともないのです

あなたはただ

ゆらめく海をラジオと渡っているだけ

十月十日待ったら帰ってくると

約束しましたし

私はあなたを待つことが

けっこう好きです

声が聴けないのを

ときおり

さびしく思います

きりんの封筒の

お手紙に切手を貼れば

こちらは醤油の雨です

そちらもチリソースの雨ですか

とお返事がくるでしょう

私かというと

書けることといたら

自分の不運ばかり

なのであなたと一緒にしたいことを

綴ろうとおもいます

トマトと玉ねぎを刻んで

にんじんをすりおろしてもらって

マリネしていたリモンチェッロで乾杯をする

タコスパーティーがしたいです

それからあなたの勇敢な

旅の面白い話でたくさん笑って

バスタブで酔っぱらってキスをして

コットンキャンディ・グレープ

を口に運んでもらって

あなたに甘やかされたい

サメ抱っこで

いつまでもいつまでも

あなたとくっついて寝たい

でも寝返りはうちたい

目が覚めたら

初デートに寄ったバーで

ひさしぶりにお酒を飲みたい

果物カクテルをゆっくりかき回して

三軒茶屋の路地裏で

ほどけるようなキスを交わしたい

そういえば

あなたから預かったアマレットも

枯らさないように

毎日見えています

私は植物枯らしの常習犯ですが

パリッと花が咲いたら写真を同封します

です。で海面のカーブから

私が見えなくなったからといって

悲しそうな顔をしないでください

私はここにいます

いつの日も

海のおいがする

あなたをずっと待っています

なので早く航海の帰路についてください

私はあなたに一刻も早く会いたいです

P.S. 小さなウミガメをつれて帰ってきてくれると、私は大喜びします